

## 臨床法学教育学会・第7回大会(平成26年度) プログラム

- 1 日時 2014年4月20日(日) 9時30分～17時30分
- 2 会場 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区神田駿河台3-11-5)
- 3 テーマ  
「法科大学院は何を成し遂げ、何をを目指すのか ― 司法制度改革の10年とこれから」
- 4 内容
  - (1) 部会
    - A 前半(9:30～11:00)
      - ① エクスターンシップ部会「法科大学院教育におけるエクスターンシップの意義と課題」  
司会:宮川成雄(早稲田大学)  
オーガナイザー:萩屋昌志(龍谷大学)  
報告者:坂口俊幸(京都弁護士会)  
コメンテーター:豊川義明(関西学院大学)
      - ② 法曹倫理部会「証人尋問準備の技術と倫理」  
オーガナイザー:森際康友(名古屋大学)  
報告者:馬橋隆紀(埼玉弁護士会)  
報告者:笠井治(首都大学東京、第二東京弁護士会)  
コメンテーター:鷹取信哉(東京弁護士会)
      - ③ 自由報告部会1「国際エクスターンシップの意義・イリノイ大学ロースクールの実践例」  
司会:山口卓男(筑波大学)  
報告者:矢部耕三(第一東京弁護士会)
    - B 後半(11:10～12:40)
      - ④ 若手弁護士部会  
司会:宮川成雄(早稲田大学)  
報告者:石田愛(京都弁護士会、法テラス福知山法律事務所)、小口幸人(第二東京弁護士会、元・宮古ひまわり基金法律事務所)、山口弥生(宮崎県弁護士会、薬剤師)
      - ⑤ 模擬裁判部会「教育方法としての模擬裁判」  
オーガナイザー:四宮啓(國學院大学)  
報告者:村岡啓一(一橋大学)、菅野亮(千葉県弁護士会・司法研修所刑事弁護教官)、神谷説子(ジャパンタイムズ)
      - ⑥ 自由報告部会2「家事紛争プログラムと法科大学院の役割」報告者:大塚正之(早稲田大学)、和田仁孝(早稲田大学)、棚村政行(早稲田大学)
  - (2) 総会(13:30～13:45)
  - (3) 報告(13:45～14:00)  
「浪江町における震災復興支援について」オーガナイザー:須網隆夫(早稲田大学)、報告者:井上航(第二東京弁護士会、法テラス本部)
  - (4) 特別講演(14:00～14:30)  
「法曹教育における知識、技能及び専門職倫理の統合 ― カーネギー報告書と臨床教育」  
司会:石田京子(早稲田大学)  
講演者:ジュディス・ウェグナー(ノースキャロライナ大学)  
(科研費臨床法学グループによる招聘)(講演は英語。日本語で要旨を配布予定。)

(5) 全体シンポジウム(14:40～17:30)

「法科大学院は何を成し遂げ、何をを目指すのか — 司法制度改革の10年とこれから」  
<報告>

「法科大学院の10年とこれからの課題」：後藤 昭(青山学院大学)

「臨床法学教育は何を成し遂げ、何をを目指すのか」：宮川成雄(早稲田大学)

「最近のアメリカ法曹教育をめぐる動向 — 表面的には類似する日米の現象の背景にあるもの」：柏木 昇(東京大学名誉教授)

「企業法務スタッフのあるべき姿 — 企業は法科大学院と学生に何を求めているか」：  
杉山忠昭(花王株式会社、経営法友会代表幹事)

<パネルディスカッション>

司会：山口卓男(筑波大学)、パネリスト：上記報告者4名

(6) 懇親会(18:00～20:00) 場所は追ってご連絡します